

上州武尊 宝台樹尾根往復

寺内

【日時】 2012年12月22日(土)～12月23日(日)

【メンバー】 L田村、佐貫、棚橋、福永、寺内

冬シーズンに入るが、入会するまで全く雪山に行ったことがないので何もかもが不安。とりあえずは歩きでどこかに行けないかと方々をお願いしたところ、田村さん達の山行に参加させていただくことになった。

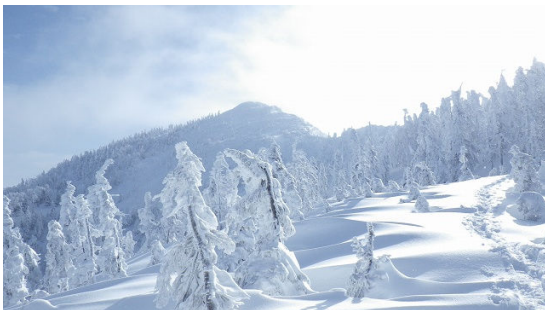
当初、越後の金城山の予定であったが、天候悪化のため上州武尊に転進。しかしこの判断が吉となり、結果大満足な山行にすることができた。

12/22 雪

リフトが動き出す時間に合わせて宝台樹スキー場に到着。既にパラパラと雪が降り始めていたので不安が増してきた。スキー客を横目にゲレンデの中を進みリフトに乗る。上がったところのすぐ左手から尾根に取り付いた。

今回は自分一人だけワカン。しかも初めて履いたのでその扱いに慣れず、何度も踏み抜き足が止まった。それでも何とかペースを崩さないように雪に覆われた森の中を進んでいく。登山道でないにも関わらず、序盤からずっと赤布が目立った。支尾根やコルが多いルートなので位置確認の訓練にはなったが、道に迷うような箇所は無い。

急な坂を登りきると夏道に出た。目印に赤布を括りつけ先へ進む。夏道とは言っても今までの宝台樹尾根とほとんど変わらない。何箇所かアップダウンを繰り返すと、雪に埋もれながらも「手小屋沢避難小屋」と書かれた看板が顔を出していた。尾根から少し外れ手小屋沢の方へ降りると避難小屋がある。小屋はかなり埋もれていて、利用は難しそうだ。さっそく小屋前のスペースを整地しテントを建てる。雪山でのテント泊ももちろん初めてだった。夏とは違う注意点がたくさんあり、一つ一つ勉強しながら作業を進めていく。水作りは特に印象的だった。



好天し、抜群の景観に。



沖武尊頂上にて。



ところで、入会して一番スゴイと感じたのは、皆がおつまみを持ち寄ることだ。乾き物程度を持っていくことはあったが、それぞれが調理して完成させるものを持ってるのがスゴイ。しかもそれとは別にメイン料理があるのだから食べるのが大好きな自分には堪らない。今回のお気に入りには佐貫さんの「のりピザ」と「カレー」だ。そのクオリティの高さに感服し、幸せの中眠りについた。

12/23 曇りのち晴れ

暗い内に準備し出発。朝の作業も夏とは違い、一人遅れ気味だった。昨日の尾根を進んで行くと、次第に斜面がキツくなってきた。ストックをピッケルに持ち替え、踏み抜かないように慎重に進んでいく。開けた場所に出ると、鎖場となった。アイゼンを履き登るが、安定していて難しくはない。ここで昨日からずっと悪かった天気が回復し、青空が見え始めた。鎖場を抜けると山頂が見え、幻想的な尾根林が光っている。ダイヤモンドダストまで見る事ができた。

素晴らしい景色の中、最後のひと踏ん張りで山頂を踏む。周囲も一望でき、感動だ。記念撮影だけしてあとは同じ道を帰るだけ。避難小屋から先は昨夜積もった雪のせいでトレースはほぼ消えていた。慣れたのかワカンでもそれほど踏み抜かなくなったので安定して下山ができ、あっという間にリフト降り場まで着いた。聞いてみるとリフトの下り便は無いとのこと。ゲレンデを降りてもいいらしいので、周囲の視線を受けながら上級・中級コースの急斜面を降り駐車場まで戻った。

【行程】

12/22 宝台樹スキー場リフト上部(9:35)～登山道(12:15)～手小屋沢避難小屋(13:25)

12/23 手小屋沢避難小屋(6:25)～沖武尊山頂(10:25/10:35)～駐車場(15:05)

【地図】 藤原湖、鎌田

